

文化庁同時提供
令和元年11月19日(火) 14時

令和元年11月19日	
資料提供	
担当課	名手隆子 関係 企画部企画政策局 文化学術課
担当者	藤山 (内) 2050
担当者	岡崎団七踊保存会 関係 教育庁生涯学習局 文化遺産課
担当者	藤森 (内) 3738

令和元年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の被表彰者の決定について

令和元年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の被表彰者が決定されましたので、お知らせします。

1 令和元年度本県被表彰者

氏名	住所	分野
名手 隆子	和歌山市	書家
岡崎団七踊保存会	和歌山市	民俗芸能の伝承

※功績等詳細は別紙のとおりです。

2 表彰の趣旨

全国各地において、芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰します。

3 表彰式

- (1) 日時 令和元年11月26日(火) 15時30分～17時30分
(2) 場所 京都府立府民ホール（京都市上京区烏丸通一条下る龍前町590-1）

令和元年度 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者について

氏 名 ^なて ^たかこ
名手 隆子
生年月日 昭和9年3月6日
現住所 和歌山県和歌山市

氏は、昭和9年和歌山市に生まれる。和歌山県立桐蔭高等学校で故天石東村氏に指導を受ける。昭和35年、東村氏の紹介で故桑田笹舟氏に師事。

昭和39年に日展に初入選、以来20回の入選を数える。高等学校で書科教諭として教鞭をとる一方、昭和58年より13年間にわたり、和歌山大学教育学部の非常勤講師として「かな実習」の講義を担当するなど、書道教育にも力を注ぐ。

昭和59年からは故桑田三舟氏に師事し、その書風にさらに磨きをかける。三舟氏没後は田頭一舟氏に師事、現在に至る。平成11年には、桐蔭高等学校創立120周年記念において、校歌歌碑を揮毫。平成12年には、教員退職記念として初の個展を開催し、記念作品集を出版する。

平成9年に書道グループ「朱睦会」を結成し、会長に就任。後進の指導にも並々ならぬ情熱を注ぎ、数々の新しい芽を生み出してきた。平成26年には「第3回朱睦会展」を開催し、会員約70名とともに多彩な作品を披露。書の心や美、墨の芸術を通して日本文化を紹介し、多くの来場者を魅了した。

氏はこれまで審査員としても長く活躍しており、和歌山県美術展覧会をはじめ、和歌山市美術展覧会、読売書法会、日本書芸院、神戸笹波会、青潮書道会などの審査員を務めてきている。

また、日本の古筆を中心に研究に取り組み、多くの執筆に携わるなど、伝統文化としての書道の継承にとどまらず、現代における書の在り方も探求し、かな書道的美を次世代に伝え続けてきた。

和歌山県では、これらの功績に対して、平成28年度に和歌山県文化功労賞を贈り、その功績を讃えたところである。

書家として、また指導者・研究者として、長年にわたる活動を通して、本県の文化振興に寄与された功績は多大である。



※ 下記アドレスにご連絡いただければ、写真データをメールで送信させていただきます。

担当 文化学術課 藤山

Email fujiyama_m0003@pref.wakayama.lg.jp

令和元年度 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰団体について

おかざきだんしちおどりほぞんかい

団体名 岡崎団七踊保存会
住 所 和歌山県和歌山市

岡崎団七踊保存会が長年にわたり継承してきた団七踊は、江戸時代に流行した奥州白石（しろいし）の志賀団七（しがだんしち）と宮城野（みやぎの）・信夫（しのぶ）姉妹の仇討ち物語である「白石噺（しろいしばなし）」を参勤交代に随行した岡崎の郷土が江戸で観て感激し、村人に伝えようと唄や踊りで表したものだといわれる。

三人一組の仇討ち芝居を織り交ぜた踊りが団七踊の特徴で、音頭取りの口説きと鉦（かね）・太鼓・拍子木（ひょうしぎ）の囃子（はやし）に合わせて姉妹の仇である団七が力強く豪快に刀を打ち下ろし、姉の宮城野が薙刀（なぎなた）を鮮やかに振り、妹の信夫が後ろざまに団七の刀を鎖鎌で受ける姿が団七踊の見どころである。岡崎団七踊は、近畿地方に伝承される数少ない団七踊として、昭和34年に和歌山県指定無形民俗文化財に指定されている。

団七踊を支える岡崎団七踊保存会は、長年にわたり芸能大会等へ精力的に参加し、県内外の民俗芸能公演をはじめとして、世界リゾート博、アジア子供フェスティバル、国民文化祭などの文化交流イベントにも参加するなど、文化財である団七踊の保存・伝承とともに和歌山県の文化振興にも大きく貢献している。また近年は、地元小学校の郷土学習の一環として岡崎団七踊を紹介したり、地元の小学生に踊りを教えるなど、後進の指導や郷土学習にも積極的に取り組んでいる。

このように、岡崎団七踊保存会は、地区の大人・子供が一丸となって、伝統文化の継承と地域の活性化に努めるとともに、県内外の文化団体との交流に努めるなど、本県の伝統文化の保護および普及に対する貢献は多大であり、平成26年には、和歌山県文化奨励賞を受賞している。



※ 下記アドレスにご連絡いただければ、写真データをメールで送信させていただきます。

担当 和歌山県教育庁 生涯学習局 文化遺産課 藤森

Email fujimori_h0002@pref.wakayama.lg.jp